

みるみるわかる 心血管のはなし

執筆 ● 田宮 栄治
(江東病院 循環器内科 副院長)

村川 裕二
(帝京大学 溝口病院 第四内科 教授)

心臓はひとりで仕事をしているわけではありません。身体中の臓器と血管でつながっています。いろいろな心血管の病態を学べば、臓器がどんなふうに協力しているかが見えてきますよ。

連載第2回

腹痛なのに血管の病気とは

症例1

- 5年前より腹部の解離性大動脈瘤を指摘されていた89歳女性。突然の腹痛と嘔吐があり、血圧が低下したため救急搬送された。
- 既往歴：狭心症、くも膜下出血。
 - 家族歴：特記すべきことはなし。
 - 生活歴：喫煙なし。

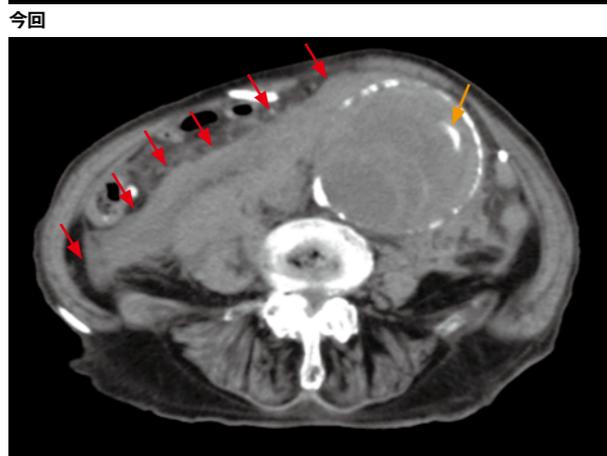
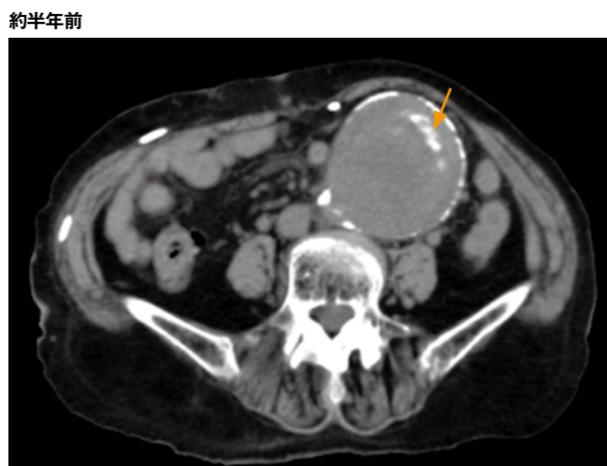


図1 症例1：非造影CT

ディスカッション

今回のテーマは「腹痛なのに血管の病気とは」です。腹痛の患者さんは通常、消化器科にかかられますので、とくに消化器科志望の先生方には、ぜひ読んでいただきたいと思います。

では、腹が痛くなる循環器疾患といえは何かがありますか？

まず、腹部大動脈瘤ですか？

う〜ん、瘤そのものは痛くないと思います。

そうですか。腹部解離性大動脈瘤は？

はい。突然、腹部の激痛をきたす疾患として、まずそれが大切です。ただし、大動脈が解離する部位によっては腹痛でなく、胸痛、背部痛や腰痛などが生じます。

瘤がだんだん大きくなると解離します。

いいえ、解離は瘤にならなくても起こります。これを大動脈解離 (aortic dissection) といいます。『みるみるわかる心血管のはなし』はテーマごとにありふれた疾患を取り上げたいと思いますが、大動脈解離は大変重要な疾患です。

ということは、頻度が多いですね。

いいえ、そう多くはありません。私はレジの先生方に『大動脈解離、忘れた頃にやって来る』と格言のように言って、注意を喚起しています。

注意とは？

見逃されて死亡し、訴訟になったケースがあります。

怖〜い。気をつけます。

ではシミュレーションを行いましょう。患者さんが突然の腹痛で救急外来にみえました。まず行う検査は？

胸腹部 X 線、心電図、血液、尿です。

はい。では大動脈解離はどんな検査異常を示すでしょうか？

多分、X 線、心電図と尿は異常を示さないと思います。血液検査では、え〜っと、WBC、CRP、LDH や CK などが上がりますか？

いいえ、血液検査では唯一、CRP が軽度から中等度上がります。あと D ダイマーも上がりますが、通常はあまり行わないと思います。



指導医
経験16年目の循環器専門医。「みるみる」シリーズの新連載を同僚から引き継いだ。今までの連載の評判を越えられるように張り切っている。



研修医
経験2年目。将来は循環器の専門医をめざして日々勉強中。指導医の異様な気合いに困惑している。